

ろうきょう

●発行／(略称 労供労組協)
労働者供給事業関連労働組合協議会

〒110-0003 東京都台東区根岸3-25-6 タブレット根岸2F
電話 03(5603)4570 FAX 03(5603)7265
●発行人/ろうきょう編集委員会

労働組合の手による派遣事業
体設立の準備をすすめてきた労
供労組協は、さる三月二十七日
(月)、東京・新宿の全労済東
京会館で「ユニオンによる派遣
事業体発足披露パーティー」を
開きました。パーティーには、
労働組合、派遣業界、学者・研
究者など日頃ご協力いただいで
いる幅広い分野の方々約80名
が参加しました。

労働組合による派遣事業体発足 労働市場にあらたな挑戦

この派遣事業体発足パーティーは、O.Aスタッフ派遣を中心とした企業組合「スタッフフォーラム」、介護者(ヘルパー)のための企業組合「ケアフォーラム」及びプログラマーのための企業組合「コンピュータユニオン」の新たな第一歩を祝うものとして開かれたものです。会場には、大脇雅子参議院議員から贈られた花が添えられ、音楽ユニオンのメンバーによるタンゴの曲、セシリアが流れる中、労供労組協の親の一人でもある連合組合組織局総局長高橋均さんは、「労働組合に



よる派遣事業体設立は二世紀の労働運動にとって重要である。労働組合の活性化は、まず実行することだ」と乾杯の音頭をとりました。
「昨年の職安法改正によって、派遣事業の労働組合が派遣事業体設立し、その派遣会社に組合員を供給、その組合員を企業に派遣することができるようになりました。この仕組みの活用で、派遣事業の新たな前進と、派遣労働者の保護、派遣業界の健全な発展にも寄与するものと期待されます。」

労供労組協議長 伊藤彰信

約一〇年前、はじめて労供労組協というのがあると知った。観光労連のフォーラムジャパンは業界第四位だという。労供事業拡大の流れができてきたことは大変嬉しい。労供労組協は、派遣労働者の相談と苦情を受け活動している。派遣労働者の困っていることを骨身にしみて感じている人たちが派遣事業体をつくるのは意義あることだ。労働市場における第三の道、そして派遣労働とはこうなければならぬということを示してほしい。小さいけれど志は高い、このような流れが拡大すれば、



中央大学法学部教授
角田邦重氏

体設立し、非営利・公開・公正性・民主的運営などを基本に、労働者としての権利を守っていきたい。



派遣労働ネットワーク代表
弁護士 中野 麻美氏

仲間が増えたことを歓迎する。会員になってほしい。人材派遣協会は二世紀に期待されている。その理由は、働く側にとっては、自分の生活にあった働き方ができ、企業側には合理的な経営ができる役割がある。株式会社は、お客様、社員、スタッフ、役員、業者、地域住民など利害関係者に気をつかいながら経営するが、企業組合は、経営者、社員、派遣スタッフなど少ないので、随分いいことを考えたと思う。二世紀にむかって新しい雇用形態、経営形態である。期待したい。



日本人材派遣協会副会長
鮎 啓東氏

二世紀の労働運動に大きなインパクトを与えるだろう。



(おわび)株式会社フォーラムジャパン代表取締役・中西康夫さん、人材派遣協会前会長の大原慶一さんにもご挨拶いただきましたが、紙面の都合上割愛させていただきますことをご詫言させていただきます。(事務局)

いまの労働市場は大変きびしい状況にある。労働者一人ひとりが安売りをしなければならぬというプレッシャーにみまわられている時代だ。
労働市場の効率化を求めて一〇年前に労働者派遣法ができたが、働いている一人ひとりが大切にされる社会でなければ、これからの経済も産業も発展しないのではないか。
このフォーラムの発足は二世紀を前にして素晴らしいものだ。ただ、厳しい時代であるので、事業をどうにか続けることが大切になってくる。そのためにも身を切る努力やいろいろな困難を乗り越えなければならぬ。(以下、二面に続く)